

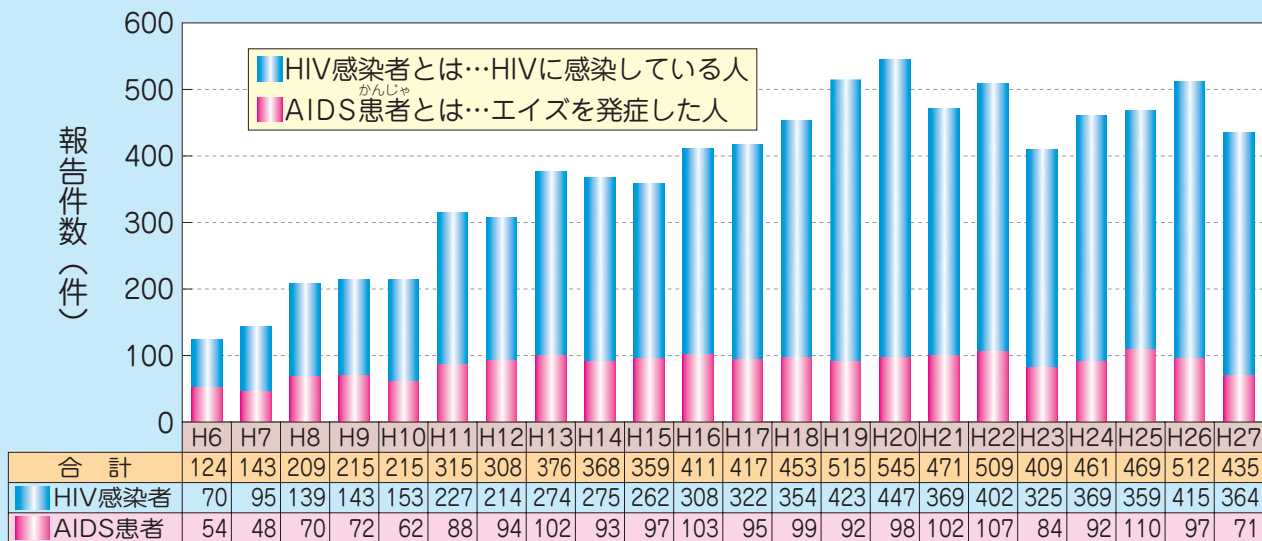
AIDS and you

私たちができることはなに？

エイズ患者は増えているの？

エイズは私には関係のないこと？

東京都のHIV感染者・AIDS患者の推移



(参考資料：東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策係発行 AIDS News Letter 2016年3月臨時増刊号)

世界のHIV感染者(成人・子供)推計総数



全世界で、約3,670 (3,400-3,980) 万人の人が感染しています (UNAIDS「ファクトシート2016」から)。

■ エイズは人の免疫力を低下させる感染症です。

エイズは

Human Immunodeficiency Virus (HIV) の感染で引き起こされる、
ヒト 免疫不全 ウイルス

Acquired Immunodeficiency Syndrome の頭文字をとった病名です。
後天性 免疫不全 症候群



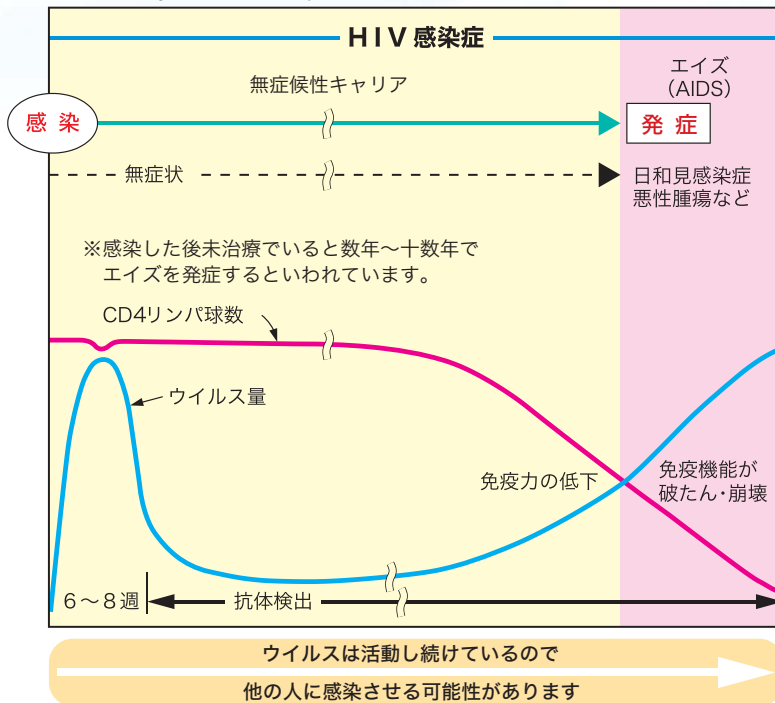
・ HIVに感染したリンパ球
・ 群がっている小さな粒子がHIV

人間の体にはいろいろな微生物が入りこんでいます。しかし、私たちの体には、ウイルスやカビ、細菌といった病原体から身を守る力が備わっています。これを**免疫**といいます。

HIVは、血液中の主に人間の免疫の中心的な役割を果たすヘルパーT細胞（CD4リンパ球）に感染し、これを破壊します。このため、免疫力が低下して、様々な病原体による感染症にかかりやすくなったり、重症化したり、悪性腫瘍になったりするのです。

■ HIVに感染しても自分では気が付きません。

HIVに感染してからの経過は？



HIVに感染しても数年から10数年の無症状期があり、すぐには症状が現れません（この期間にも他の人に感染する可能性があります。）。

そして、適切な治療をしないと、次第に免疫力が低下し、エイズを発症します。他の病気と同様に、早期発見がとても大切です。

エイズの治療

現在のところHIV感染症を完全に治す薬はありませんが、HIVに感染した場合でも**早期に発見し、定期的な受診を続け、適切な時期に治療を受けることでエイズの発症を抑えることができるようになりました。※**

※ART

抗HIV薬（HIVが感染者のリンパ球内で増殖するのを阻害する薬）の中から3・4種類を組み合わせる方法

- ・ 長期生存が可能となった。
- ・ 完全に治癒することはない、一生薬を服用する必要がある。
- ・ ただし薬の副作用、飲み忘れによる耐性等の問題がある。

以前は、抗HIV薬による治療法の呼び名として一般化していたのは、HAART (highly active anti retro virus therapy) でしたが、「HIV感染症治療の手引き (第15版)」で、ART (Anti Retro virus T herapy) という呼び名に統一されました。

HIV感染症の治療は、抗HIV薬の開発、そしてそれらの薬剤を用いた抗HIV療法 (ART) によって、大きな進歩を遂げています。

現在使用可能な抗HIV薬は20種類を越え、様々な改善が行われています。新しい治療薬が加わるなどして、最適と考えられるHIV感染症の治療の方針は年々変化しており、かつ流動的です。

HIVと性感染症

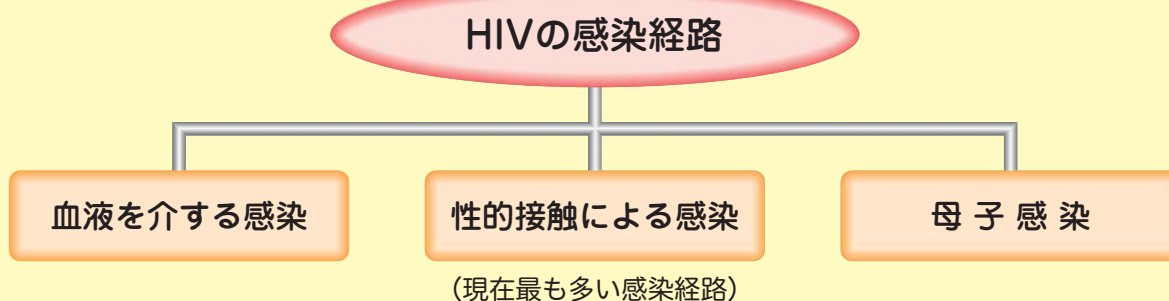
- ① HIV感染症は、性感染症の一つです。
- ② 他の性感染症に感染している場合は、HIVに感染するリスクが高くなる(特に女性の場合は、男性よりリスクが高い)。
- ③ HIVに感染している場合は、他の性感染症は重症・難治化する傾向があります。
- ④ 近年、若い世代(10代後半から20代)に梅毒や性器クラミジア感染症、淋病等、性的接触による性感染症が多く見られています。

HIVの感染は、予防することができます。

感染する経路は限られています。

HIVは、感染者の血液や精液、膣分泌液、母乳に含まれています。これらの体液が感染源となり、主に粘膜や傷口から感染します。

感染するのは、次の三つの経路です。
これ以外の日常生活で感染することはありません。



HIVの感染を予防するために一人一人ができること

あなたと一緒に考えたい...

大事なことからね

感染経路を絶つこと
性的接触をしないこと

(HIV感染症を含む性感染症を予防するためには、正しくコンドームを使うことも有効です。)

自分の大切な人を守るためには
HIV検査を受けることも一つの方法

HIV検査

感染したかどうかは、血液検査により、初めて分かります。自分が感染しているかどうかを知ることによって、他の人にHIVを感染させることを防ぐことができます。

→検査場所 裏表紙参照



エイズのことをもっと知りたくなったら…

HIV/AIDSに関する情報ラウンジ

ふぉー・ていー

〒170-0013

東京都豊島区東池袋1-20-9

池袋保健所1階 AIDS知ろう館内

電話/ファクシミリ 03-3986-7077



本やビデオなどの資料を見られます。

スタッフに質問することができます。

URL : <http://www.4tweb.jp/index.html>

Words of Love

Let's Talk about HIV/AIDS

エイズ予防啓発イベントサイト

URL : <http://www.wordsoflove.jp/>



HIV/エイズ啓発番組をユーストリームで観ることができます。

少しでも不安があったら……検査や相談を受けましょう。

検査は保健所等で匿名・無料で受けられます。

詳しくはこちらから

東京都HIV検査情報web

URL : <http://tokyo-kensa.jp/>



相談と検査ができる施設案内

【東京都南新宿検査・相談室】

JR新宿駅南口から徒歩3分

予約電話 03-3377-0811

予約受付時間 月～金 15:30～19:00(祝日を除く。)
土・日 13:00～16:30(祝日を除く。)

URL : <http://www.tmsks.jp/>

- ・検査結果について医師から説明を聞くことができます。
- ・さらに、検査を受けた方でエイズに関する相談をする場合、火、木、土、日に相談員がいます。
- ・聴覚障害者の方は、ファクシミリで申込みができます。(ファクシミリ番号 03-3377-0821)



【東京都多摩地域検査・相談室】

祝日を除く毎週土曜日に開設

JR南武線 西国立駅から徒歩10分

〈予約検査〉 予約電話 080-2022-3667

予約時間 月～金 10:00～16:00(祝日を除く。)

検査受付時間 土 10:00(祝日を除く。)

〈先着順検査〉

検査受付時間 土 12:00～15:00

【東京都HIV/エイズ電話相談】03-3292-9090

月～金 9:00～21:00

土・日・祝日 14:00～17:00

HIV感染者やエイズ患者であるということによって偏見や差別に苦しんでいる人がいます。
HIV感染者やエイズ患者とともに生きる社会づくりを目指しましょう。

- HIV感染者やエイズ患者が治療を受けるには、周りの人の理解と協力が必要です。
- 病気に向き合い生きようとする人たちは、病気に対する不安と社会に受け入れられないのではないかと不安の中で生活していることも少なくありません。

あなたはどうか行動しますか

●発行年月 平成28年10月

●東京都教育委員会印刷物登録 平成28年度 第96号

●編集 東京都教育庁指導部指導企画課

●協力 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策担当

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 TEL 03-5320-6887

●発行 東京都教育委員会

